



バリュー第一

ジョンソンコントロールズ倫理規範



目次

はじめに

ジョンソンコントロールズ倫理 およびコンプライアンスプログラム	07
私たちの責任	08
リーダーと監督者の特別な責任	09
声を上げ、支援を得る	10
スマートな選択を行う	11

バリュー第一と共に勝利する

安全衛生	13
尊敬の念を持った対応、職場での ハラスメントといじめの禁止	14
多様性と包容性	15
機会均等と差別禁止	16
従業員情報保護	17

バリュー第一と顧客のために勝利する

製品品質と安全性	19
誠実なマーケティング、営業、サービス	20
顧客情報保護	21
公共事業契約におけるコンプライアンス	22

バリュー第一と市場で勝利すること

国際貿易規制コンプライアンス	25
公正競争／独占禁止法	26
研究上のインテグリティと 倫理的なマーケットリサーチの手法	27
贈収賄とその他の汚職	28
第三者の知的財産権と商権	30

バリュー第一と投資家のために勝つこと

利益相反	32
記録保存と開示	36
物理的財産と資産、当社の評判、 当社の機密情報と営業秘密	37
インサイダー取引と証券取引規制違反	42
責任あるコミュニケーション	43

バリュー第一と仕入先との成功の分かち合い

調達	46
サプライチェーンにおける権利濫用の禁止	47
サプライヤーの期待	49

バリュー第一と地域社会との成功の分かち合い

持続可能性と環境への責任	51
コミュニティとの関わりと投資	52
政治活動とロビー活動	53



バリュー第一
誰もが、
どこでも、
毎日

ジョンソンコントロールズにおける私たちの日々の行動が、世界の生産性、安全性、持続可能性を高めます。顧客のために、勝利のソリューションを作り出すことは、市場で勝利するための鍵です。私たちが、それをいかに実行するかが重要です。誠実さを欠いた勝利には意味がないためです。これこそ、当社のバリューのなかで「誠実さ第一」が最も重要である理由です。

当社のバリューは、どこでも、私たちのあらゆる行動の出発点となります。私たちが何者であるか、何を大事にしているか、物事をどのように成し遂げるべきかを、私たち（および、その他の人たち）に再認識させてくれるものです。当社のバリューは、私たちのインスピレーションであり、ガイドなのです。これこそが、このジョンソンコントロールズ倫理規範を「バリュー第一」と呼ぶ理由です。



バリュー第一
当社のバリュー
が勝利の行動
を促進し、
勝利の成果
をもたらす

誠実さ第一

私たちは誠意と透明性を約束します。誠実さ（インテグリティ）を最大限追求し、誇りを持って約束を果たします。

意義先行

私たちは「Doing Well by Doing Good（善行によって成功を導く）」ことを信条とし、提供するソリューション、社会への参画、ビジネスのやり方、人と環境を守るというコミットメントを通じ、より良い世界の実現に責任を持って取り組みます。

顧客主導

お客様の成功が当社の成功を意味します。長期的かつ戦略的な関係から、独自の知見を提供し、卓越した顧客体験とソリューションを実現します。

未来志向

イノベーションと継続的改善の文化を原動力に、現在の課題を解決しつつ、「次に何をすべきか」を常に追求します。

ワン・チーム

1つのチームとして共に協力し、世界を発展させる意義あるソリューションの創生に尽力します。



CEOからのメッセージ

従業員の皆さんへ

私たちは、複雑さ、変化、不確実性が日常的に存在する世界に生きています。生活し、働き、移動する環境をより自由にコントロールできるという考えは、私たちを安心させ力を与えてくれるものです。1883年、ウォーレン・S・ジョンソンは、この考えにインスピレーションを得て電気式室内サーモスタットを発明しました。現在、これと同じ基本的な考え方が、ジョンソンコントロールズにインスピレーションを与えています。すなわち、安全で快適、持続可能な世界にするために、世界中でコラボレーションとイノベーションを行っています。当社は物を作るだけの会社ではありません。作り出しているのは変化です。

仕事をしたり、同僚、顧客、世界中の人々と交流したりするときには、より大局的なイメージを頭の中に常に描く必要があります。そうすることで、よくも悪くも、私たち個々の意思決定と行動の影響が、想像よりもはるかに大きくなる可能性があることを再認識できます。顧客からの信頼と、品質、信頼性、誠実さに関する評判が今ほど重要だったことはありません。このような理由により、ジョンソンコントロールズ倫理規範「バリュー第一」は必要不可欠なリソースとなっているのです。私たちのそれぞれが本規程をよく理解し、いかなるときもこれに従う責任を負っています。

本規程の名称には重要な意味があります。当社がバリューを最優先するときに持続的な事業を構築できる、という信念を表しているのです。当社のバリューを行動に反映させることで、信頼と尊敬の文化が促進されます。これにより、コラボレーション、イノベーション、最高の仕事に取り組むことができ、私たちと顧客が共に勝利することができます。

安全で快適、持続可能な世界にするための、皆さんのすべての取り組みに感謝します。

どうぞよろしくお願いいたします。

George Oliver

会長および最高経営責任者



バリュー第一 なぜ当社の バリューが 最優先されるか

ジョンソンコントロールズは、約束を守り、顧客や他の利害関係者にバリューを提供する信頼に値する会社として、130年以上にわたる評判を確立しています。

当社でどのような役割を担っているかに関わらず、この評判を守るのは私たちの責任です。私たちの個々の選択や行動は、顧客、投資家、その他の利害関係者の期待にジョンソンコントロールズが応えられるか否かということに直接影響します。当社には、世界中で多くのブランドと業務機能を支えている12万人の従業員がいますが、全員が1つのチームとして勝利するのです。私たちの選択と行動は、互いに協力して最高の仕事ができるよう、信頼と敬意の文化を維持するものである必要があります。

これこそ、当社の倫理規範であるバリュー第一を定めている理由です。これは行動に対する期待を設定し、私たち自身とすべての利害関係者にとって最良の成果が上げられるよう導くものです。実用的で使いやすいリソースであり、共有されたバリューを行動につなげる方法を示しています。当社のバリューが正しい行動を促進するとき、誰もが勝利することができます。



バリュー第一

当社の
バリューが正
しい行動を
鼓舞するとき、
誰もが勝利する
ことができます

ジョンソンコントロールズ

倫理およびコンプライアンスプログラム

当社の倫理規範であるバリュー第一は、ジョンソンコントロールズ倫理およびコンプライアンスプログラムの基盤となっています。このプログラムは、私たち個人の行動、事業運営、組織文化が最高水準の誠実さを確実に維持するための統合されたアプローチです。リーダーシップによるコミットメント、コミュニケーション、研修、監視、報告メカニズムやその他の手段を通じて、倫理およびコンプライアンスプログラムは、倫理とコンプライアンスのリスクを特定し、安全に導き、当社のバリューに従って事業を行うことを支援します。



バリュー第一 私たちの責任

ジョンソンコントロールズでは、誰もが、どこでも、倫理規範をよく理解する必要があります。また役割や年功にかかわらず倫理規範をよく理解し、毎日従う必要があります。これはすべての従業員、役員、取締役が対象となります。本規範の違反は深刻な事態であり、現地の法的要件に従って懲戒処分（最大で解雇までを含む）が科される可能性があります。

ジョンソンコントロールズには、規範のさまざまなトピックについて細部にわたり対処する規程があります。これらの規程は [倫理およびコンプライアンスSharePointサイト](#) で確認できます。

本規範と会社規程に従う必要があるのみならず、私たち一人ひとりが、適用される法律を遵守する義務を負っています。何をすべきか分からない場合や懸念を持った場合（特に、不正行為を見かけたりその疑いを持ったりした場合は、声を上げる義務があります。



バリュー第一 リーダーと 監督者の 特別な責任

私たち全員が本規程に従い、ジョンソンコントロールズのバリューを体現する必要がありますが、リーダーや監督者としての責任を担う従業員はさらに以下のような義務を負います。

- ・ 本規範に従うことの重要性を、チームメンバーと直属の部下に定期的に再認識させる
- ・ 本規範と当社のバリューについて話し合う機会を積極的に探す（例えば、チームミーティングや個人のパフォーマンスレビューの時間）
- ・ リーダーとしての倫理的な行為を認めて評価し、当社が求める文化とビジネス上の成果に結びつける
- ・ 本規範および／または会社規程に違反した従業員に関する管理上の影響を最後までフォローする
- ・ ロールモデルとしての役割を果たすとともに、発言や行動における、倫理やコンプライアンスへの個人的なコミットメントを示す
- ・ 懸念事項を報告するさまざまな方法と、報復行為が容認されないことをチームに確実に理解させる
- ・ 公平で専門的な調査を徹底するため、指摘されている懸念事項の記録を[Integrityヘルプライン](#)に残す
- ・ 正規雇用以外のスタッフ（コンサルタントや一時および臨時労働者など）が、本規範および当社のバリューと整合性を保って行動するよう要求する



バリュー第一

声を上げ、 支援を得る

声を上げる—すべての人の声が重要です

多くの場合、行うべき正しいことは明白です。しかし時には、状況が複雑であったり、いつもと違うように思われたりして、進むべき方向が分からないときもあるでしょう。懸念を持った場合は、すぐに報告してください。私たちにはその義務があるだけでなく、誰かが声を上げることで迅速に事態を明確化し、潜在的な問題を回避することができます。何か問題があった場合に誰かが声を上げれば、それを調査し、是正する機会が生まれます。

リソース

倫理やコンプライアンス上の懸念を提起する方法はいくつかあります。以下の方法で提起できます。

- ・ 問題について所属長（直属の上司）に相談する
- ・ 問題について別の所属長またはマネージャーに相談する
- ・ コンプライアンスチーム、人事部門、法務部門に問い合わせる
- ・ ジョンソンコントロールズの「[Integrityヘルプライン](#)」（24時間受付）まで、次のいずれかの方法で連絡する。
 - ・ インターネット：JohnsonControlsIntegrityHelpline.com
 - ・ 電話：（JohnsonControlsIntegrityHelpline.comか、従業員ポータルのフリーダイヤル番号にアクセスしてください）

報復を決して容認しない

ジョンソンコントロールズは報復行為を禁じています。誠意を持って懸念を表明した人は、どのような種類の報復にも（脅し、嫌がらせ、就業時間の短縮、雇用の解除、その他の負の結果を含む）直面することはありません。報復は当社のバリューに反し、成功に不可欠な信頼を損ないます。報復行為は重大な違法行為であり、懲戒処分（最大で解雇までを含む）に相当するものです。

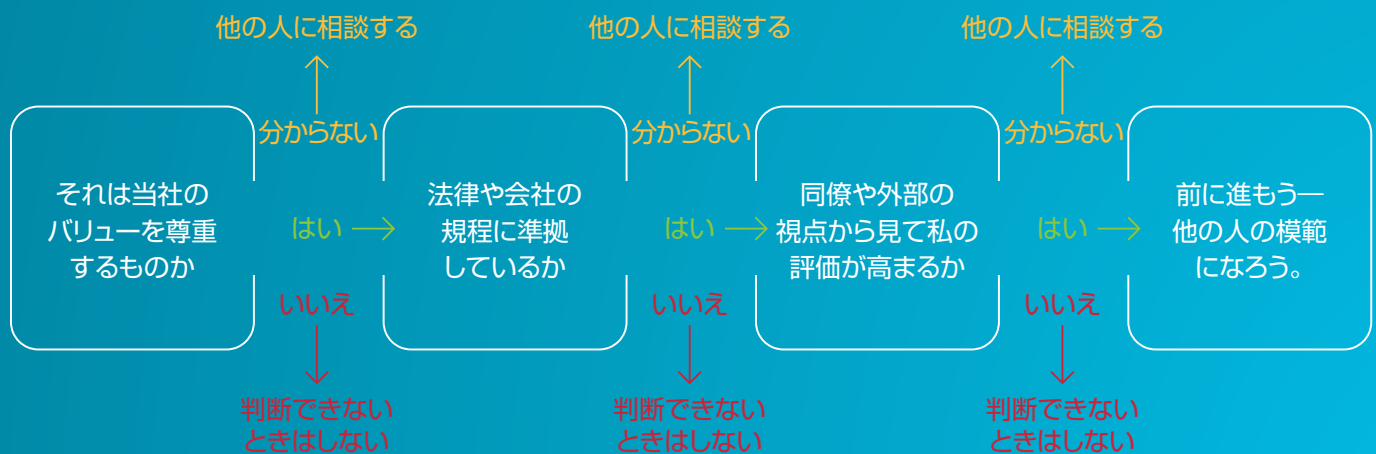


バリュー第一 スマートな 選択を行う

当社のバリューは、どのように目標を達成するかが、目標の達成と同様に重要であるとしています。目標達成の過程で私たちが行う選択は、個人として、また組織としての私たちについて多くを伝えます。私たちは、適切な選択（誇らしき文化と会社を支える選択）を行い、倫理的かつ法的に責任ある方法で事業を行っている企業として認められることを望んでいます。

難しい決断に直面した場合は、次の手順に従うことを検討してください。どうすればよいか分からなくなった場合、[10ページに記載したリソース](#)のいずれかが役に立ちます。

意思決定や行動方針を検討するときには、以下のように自分自身に問いかけてみてください。





バリュー第一と
共に勝利する

安全衛生



すべての人の安全を守る

どのように勝つか

私たちは自分自身や他の人たちの安全性と健全性を維持し、秘められた可能性を最大限に発揮できるようにします。

なぜ「バリュー第一」か

従業員とその他の関係者の福祉を最優先事項とすると、私たちはチームとして勝利をおさめることができます。職場の健全性と安全性以上に重要なものはありません。当社の「Zero Harm（危険災害ゼロ）」ビジョンとそれに伴う目標により、私たちはこの点を注視し続けることができます。すべての人の安全を維持することは共通の責任です。負傷や事故を防ぐために、私たちは日々の活動でお互いに注意を払います。害を及ぼす可能性のあるものを見つけた場合は適切な措置を講じます。優れた安全慣行を実践すれば、私たち自身を守り、仕事環境をより快適なものにすることができます。また、優れた顧客体験とソリューションの提供に集中できるようになります。

「勝つ」とはどういうことか

当社は、以下を行うことでZero Harmの文化を促進します。

- ・ 安全に関するガイドラインと手順をすべて理解し、遵守する
- ・ 職場で不要なリスクを取らず、他の人にそうすることを求めない
- ・ 生産や業務を遅延させることになっても、安全でなくなった場合は行っている作業を直ちにやめる
- ・ 職場の危険要因、故障または紛失した機器、会社の財産に対する暴力や武器による脅威など、危険あるいは不健全な状態や行動を常に報告する
- ・ 負傷やその他の緊急事態の場合に何をすべきか理解する
- ・ 判断力を低下させたり、安全を脅かしたりする可能性のあるものの影響下で業務を行わない

まず考える

Q: 生産ラインで働いている同僚が、今週2回、彼の抜けた穴をカバーするよう私に頼みました。その間彼は、予定外の短時間の休憩を取っていました。彼は新しい薬を服用しており、時折めまいを感じているようです。私は、副作用のために彼自身と周りの人が危険にさらされないか心配だ、と彼に言いました。すぐに薬に慣れるから何も心配することはない、と彼は言いました。私は行動を起こす必要がありますか。

A: 私たちの誰もが、潜在的な健康および安全のリスクを認識した場合に行動する義務を負っています。行動しないことは、本規範の違反となります。あなたは、上司と話し合うよう同僚に助言してください。上司は、業務の一時的な再割り当てやその他の対応を考慮することが考えられます。同僚が問題を提起しつづける場合はあなたや他の人が提起する義務を負うことを、彼に知らせてください。当社はすべての人のプライバシー権を尊重しますが、安全は最優先事項です。

尊敬の念を持った対応、 職場でのハラスメントといじめの禁止



敬意に満ちた職場の推進と維持

どのように勝つか

私たちは敬意を持って他者を扱うことで、1つのチームとして活躍できるポジティブな職場環境を促進します。

なぜ「バリュー第一」か

私たちは、互いの信頼と敬意を促すように交流する1つのチームとして、協力して仕事をしています。これは、プロフェッショナルとして行動し、オープンに、敬意を持って他の人と話し合い、可能な場合はいつでも互いに助け合うことを意味します。このようにして、私たち一人ひとりが、卓越性と誠実さの文化を形づくり強化することができます。活力を与え、全員の最善の努力を支援する職場こそが勝利をおさめる職場です。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を通じ、敬意にあふれる職場を維持します。

- ・ 同僚やパートナーとの信頼を構築する
- ・ 傾聴し、理解する
- ・ チームの利益のために協力し共有できる機会を求める
- ・ 自分の発言や行動が他の人からどのように認識されるか、前もって考える
- ・ あらゆる種類のいじめや嫌がらせに立ち向かい、必要なときには助けを求める
- ・ 人種、性別、肌の色、宗教、年齢、国籍、身体的障害、性的指向、または法律で保護されているその他の特性に関する不適切なジョーク、侮辱またはその他の攻撃的なコメントについて報告する
- ・ 不快に受け取られる性的発言や誘いかけを絶対に行わず（または容認せず）、他の人の感情を害しかねない物を掲示しない
- ・ 対象があなた自身であるか他の人であるかを問わず、不適切な行動について報告する

まず考える

Q: 私の新しい上司は非常に好奇心旺盛で外向的です。個人的生活に関する質問への答えを彼女が要求するので、私は不快に思っています。フレンドリーな態度であると思っているのかもしれませんが、彼女が会話で取り上げる話題は気分のいいものではありません。私はやめてくれるように頼みましたが、彼女は私が堅苦しすぎると言い、私がチームに適しているかどうか疑問であると大声で言いました。上司との関係で悪いスタートを切りたくはありませんが、彼女のせいで私は神経がピリピリしています。どうすればいいでしょうか。

A: この上司の行為は歓迎も許容もされず、ジョンソンコントロールズで行われてはならないものです。抵抗なく言えるのであれば、彼女の態度をどのように感じているか上司に伝え、今後はやめてもらうようお願いしましょう。上司と再び対立したくない場合は、より上位のマネージャーや人事担当者に相談するか、[Integrityヘルプライン](#)に連絡してください。これらの方法のいずれかにより、問題を解決することができるでしょう。あなたに対する、どのような報復行為も許されません。

多様性と包容性



多様な才能、経歴、視点を尊重する

どのように勝つか

当社は、優れたアイデアとイノベーションのために、当社の多様な才能、経歴、視点を最大限に活用します。

なぜ「バリュー第一」か

ジョンソンコントロールズは幅広い経験、能力、視点を持つ従業員を引き付け、育成し、権限を与えます。それぞれの個性を形作るものを尊重することにより、私たちの視野が広がり、新しいアイデアの誕生が促されます。私たちの多様性を持って、問題解決の創造性、意思決定の慎重さ、チャンスを見極める積極性が向上します。成功に貢献し、その一員となっていると誰もが感じられるとき、従業員、顧客、投資家のすべてにメリットがあります。

「勝つ」とはどういうことか

当社は以下を行うことで多様かつ包括的な文化を活用します。

- ・ 他の意見やアプローチを積極的に探す
- ・ 自分自身とは異なる考えやアイデアを検討し、そこからメリットを得られるよう、敬意を持って他の人の意見に耳を傾ける
- ・ 従業員を公平に扱い、資質とスキルに基づいて平等な機会を提供する
- ・ 他の人からのフィードバックを求め、受け入れる

まず考える

Q: 私はチームに3人しかいない女性メンバーの一人です。週に一度のチームミーティングにおいて、男性の上司が明らかに男性の同僚のアイデアや意見を支持し、時には私や他の女性を公然と否定します。私たちは見くびられ、何かができることを証明するチャンスを奪われているように感じています。上司との問題を提起しても、女性に対する彼の偏見を強く確信させられる結果にならないか懸念しています。チームの全メンバーが貢献できるよう現状を変えるには、どうすればいいでしょうか。

A: ジョンソンコントロールズでは、誰もが成功に貢献できる多様かつ包括的な環境が推進されています。性的偏見はいかなる形態であっても、当社のバリューや当社が育む文化を反映するものではありません。あなたのアイデアが考慮されない特定の理由があるのかどうか、上司に尋ねることを検討してください。それでも問題が解決しない場合は、より上位のマネージャーに相談するか、懸念を提起するために利用できるその他のリソース（人事部門に相談する、[Integrityヘルプライン](#)に連絡するなど）を使用してください。

機会均等と差別禁止



従業員に対する支援と昇進

どのように勝つか

当社は才能のある人を引き付け、秘められた可能性を開花させ、成功に向けた支援を提供します。

なぜ「バリュー第一」か

当社は最高に賢明で最適な人材を雇い、昇進させます。当社は雇用に関する決定を資質、志望、パフォーマンスに基づいて行い、決して先入観や偏見に基づかないようにしています。すべての人に公正なチャンスを与えることは正しいことです。私たちは、人種、肌の色、宗教、国籍、性別、妊娠の有無、年齢、身体的障害、性的指向、性同一性、婚姻状況、兵役の有無、または法律で保護されているその他のステータスに基づく差別を容認しません。

「勝つ」とはどういうことか

当社は以下を行うことで、優秀な従業員を引き付け、育成し、定着を促します。

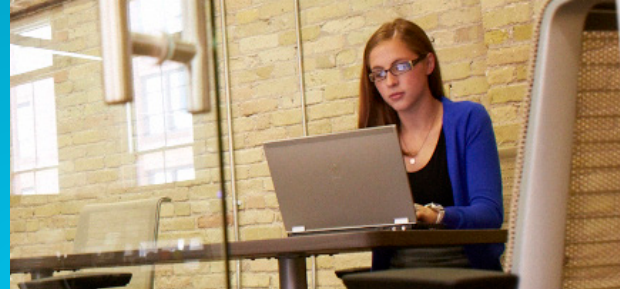
- ・ 従業員を公平に扱い、従業員がジョンソンコントロールズにもたらすバリューに焦点を置く
- ・ メリットに基づいて採用、研修、昇進、規律に関する決定を下す
- ・ 障がいを持つ従業員のための適切な設備を提供する
- ・ 差別を行う言い訳を許容せず、断固拒否する

まず考える

Q: 私は、高齢の従業員をチームに入れたくないと上司が言っていると聞きました。上司は、高齢の従業員は単に求められる生産スピードについてこれないからで、これは差別ではないと言っています。彼は正しいのでしょうか。

A: いいえ、正しくはありません。年齢やその他の個人的特性に基づいた、人やグループに関する包括的な信念や表明は、私たちが促進するバリューや文化にとって不適切かつ不適合です。また、差別的行為につながる可能性もあります。誰もが自分自身の能力とパフォーマンスで評価される必要があります。誰もが公平に扱われる職場環境により、信頼し合い、意欲を向上させ、高いパフォーマンスをもたらす文化を徹底しやすくなります。

従業員情報保護



個人情報保護

どのように勝つか

私たちは従業員、応募者、取引先、顧客の個人情報を保護します。

なぜ「バリュー第一」か

ジョンソンコントロールズは、当社の事業運営を支援するために個人情報の収集、保管、使用、共有を行う必要があります。当社は、顧客およびサプライヤーとのビジネス関係、従業員給付の管理、法的要件の遵守など、さまざまな目的でこの個人情報を必要としています。ジョンソンコントロールズは個人のプライバシー権を尊重します。悪意のある者の手に渡った場合、個人情報は、個人の特定、個人情報の盗難、または不正行為に使用される可能性があります。1つのチームとして、職場内とオンラインでお互いに気を配ります。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは、以下を行うことで個人情報を保護します。

- ・ 正当な業務目的でのみ個人情報の収集、処理、使用を行い、その目的に必要な範囲に限り情報を収集する
- ・ 個人情報が収集、処理、使用される理由と方法を開示し、明確にする
- ・ 必要以上に個人情報を共有したり、業務上知る必要がない者と共有したりしない
- ・ 当社の管理下にある個人情報を保護し、本来の目的上必要がなくなったときは確実に処分する
- ・ 適用されるすべての個人情報保護法と当社の[プライバシー規程に従う](#)

米国および米国領土で働く従業員は、給与、労働時間、その他の雇用条件、個人情報、および/または雇用情報について、同僚、または行政機関、労働組合、メディアなどの第三者と話し合う権利を保有します。

米国およびその領土外で働く従業員は、従業員が勤務する地域で適用されている雇用条件、個人情報、および/または雇用情報の共有に関する法律および規制に従う必要があります。現地の法律でこれらの情報を共有することが許可されている場合、従業員は情報を共有することができます。現地の法律で機密を保持することが義務付けられている場合、従業員はこの情報を共有することはできません。

まず考える

Q: 私のチームの友人が最近出産しました。私たちのチームリーダーは、会社を代表して花束を送りたいと考えています。これはいいアイデアだと思います。私たち2人が友人であり、互いに近くに住んでいることを知っているため、チームリーダーは友人の自宅住所を私に尋ねました。私は、友人の許可を前もって求めずにチームリーダーに住所を教えることに納得できません。しかし、サプライズを台無しにしたくはありません。どうすればいいでしょうか。

A: 当社は従業員、顧客または他のビジネスパートナーいずれの情報であるかを問わず、個人情報保護を非常に真剣にとらえています。私たち全員が、個人情報を保護し、適切な目的のもとに、使用を許可された者のみが使用できるようにする責任を負っています。個人のデータを悪意のある者に渡してしまうことは致命的な結果を招き、個人情報の盗難やその他の犯罪を助長する可能性があります。チームリーダーに、チームの人事担当者と話し合って手配する方が好ましいと伝えてください。



バリュー第一と
顧客のために勝利する

製品品質と安全性



優れた製品とソリューションの提供

どのように勝つか

当社は、安全で革新的な製品とソリューションを通じて、顧客に最高の価値を提供することに焦点を置いています。

なぜ「バリュー第一」か

当社が望むのは、長期的に当社とお付き合いしてくれる顧客です。つまり、当社が競合他社よりも顧客ニーズを理解し、予測し、これに応えているという信頼を寄せてくれる顧客です。私たちは決して現状に満足しません。顧客主導とするために、新たな、より良い方法を常に模索しています。私たちはイノベーションを続けており、製品やサービスの品質と安全性について決して妥協しません。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは、以下を行うことで顧客に卓越性を提供します。

- ・ 製品やソリューションの品質とイノベーションを促進する環境を作る
- ・ 製品やソリューションの品質と安全性を損なう可能性のある抜け道を絶対に使用しない
- ・ 顧客からのフィードバックを求め、耳を傾ける
- ・ 製品の安全性や品質に関する懸念を直ちに報告する

まず考える

Q: 私は最新製品の再設計に関わっていました。このプロセスは完了まで1年以上かかっており、カテゴリーの中で最も技術的に高度であると思われる製品ができました。しかしながら、私は設計上の欠陥を発見したかもしれないと不安を抱えています。特定の状況で製品がショートし、火災の原因となりうる欠陥です。私はマネージャーにこのことを伝えました。無視できる程度のリスクしかなく、徹底的に行った試験プロセスを後から疑うべきではないと彼は言います。誰かが負傷する可能性があるため、私は悩んでいます。マネージャーはこの問題についてそれ以上話し合うことを拒否しています。誰に話したらいいのでしょうか。

A: 製品の設計時、製造時、工場出荷後の安全性は、私たちにとって非常に重要な関心事です。エンジニアリングチームのシニアマネージャーに相談するか、コンプライアンスチーム、現地のEHS担当者、またはコーポレートEHSチームのメンバーに連絡するか、[Integrityヘルプライン](#)に報告する必要があります。そうすることにより、懸念事項を適切に評価し、必要に応じて上申することができます。

誠実なマーケティング、 営業、サービス



マーケティングと営業を誠実に行う

どのように勝つか

私たちは、顧客に提供するバリューについて自信を持って正直に説明します。これによってブランドへの信頼を獲得できるためです。

なぜ「バリュー第一」か

ジョンソンコントロールズは誠実さを第一に考えています。私たちは、ビジネスで関係のあるすべての人に正直さと透明性を約束します。ビジネスで勝利をおさめ、顧客の信頼を得ることは、当社のソリューションを市場に提示する方法から始まります。どのようにして価値を付加するか、明確かつ信頼できる方法で示し、約束を果たします。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、自信を持って正直にブランドを提示します。

- ・ 製品やサービスの機能を正確に提示する
- ・ マーケティング資料や契約について法的要件と規制要件の遵守を徹底する
- ・ ソリューションのメリットに焦点を当て、競合他社を不当に批判しない
- ・ 高圧的な営業戦術や「乱売」を行わない
- ・ 取引の確定や契約の署名のための適切な権限を取得する
- ・ 顧客からの問い合わせや懸念に迅速に対応する

まず考える

Q: 最近の営業ミーティングで、私の同僚は見込み顧客の技術的な質問に正確に答えましたが、私の考えでは、すべてを話してはいませんでした。顧客の前で同僚と衝突したくなかったため、その後私はタクシーの中で彼女に問いかけました。彼女は、「私が顧客に提示した内容は正しかった。言い忘れたことが少しあるが、顧客の決定にとって重要ではない。私たちが最終候補に残っていると顧客は話していた。私たちは次のミーティングでいつでもこの点について明確に説明できる」と言いました。私は次の機会を待つべきではなく、完全な情報を顧客に提供する必要があると感じています。

A: あなたの勘は正しいです。当社の製品とソリューションを市場に提示する際には、顧客と見込み客が十分に情報に基づいた意思決定を行えるように、全体像を提供する必要があります。この時点で、顧客に再度連絡して詳細を明らかに示すことは、顧客から尊敬と信頼を得るためのよい方法です。何が顧客にとって重要であるかは、顧客自身が判断する必要があります。顧客の誤解に基づいて販売を行った場合、ビジネス上の関係のみならず、当社の評判を損なうリスクがあります。

顧客情報保護



顧客の信頼を維持する

どのように勝つか

私たちは、顧客から託された機密情報を保護します。

なぜ「バリュー第一」か

顧客主導であることは、顧客との約束を守ったり期待に応えたりすることにとどまりません。その中核にあるのは、自分たちの利益だけではなく顧客の利益に配慮する態度を示すことにより、顧客の信頼を獲得し続けることです。機密情報はお客様と当社の双方にとって同じように貴重なものです。承認されていない使用や開示は、金銭的な損害を負うと共に評判を著しく損なうおそれがあります。託された機密情報を保護するために、当社ではさまざまな予防措置を講じています。

「勝つ」とはどういうことか

当社は以下の方法でお客様の信頼を保っています。

- ・ 当社の機密情報と同じように細心の注意を払ってお客様の機密情報を扱う
- ・ お客様の情報を守るために、適切なセキュリティ手段を取る
- ・ お客様の機密情報を開示する相手を、権限が与えられている人、および業務上そのデータにアクセスする必要がある人に限定する
- ・ お客様が許可した相手を除き、社外の誰もお客様の機密情報を共有しない
- ・ 機密情報ではないことを未確認の情報は、機密情報ではないことと確認できるまで機密情報と見なす
- ・ 適用される個人情報保護法と当社の[プライバシー規程に従う](#)
- ・ 何らかの形でお客様の情報が不適切に扱われたことを知ったか、またはその疑いがある場合は、速やかにコンプライアンスチームか法務部門に報告する

まよ考える

Q: ジョンソンコントロールズで働くようになってから10年の間に、私は多くのグループと仕事をし、全社にわたって強いつながりを築きました。1つ前の所属グループの友人から、新しいサービスのマーケティングに生かすため、お客様のメールアドレスのリストを送ってほしいと頼まれました。全社が1つのチームであることを踏まえ、友人を助けたいと思いましたが、社内とはいえ、この情報を共有すべきか確信が持てませんでした。この依頼にどう対処したらよいでしょうか。

A: 全社を1つのチームと考える業務運営には、全社で協力する方法を探すことも含まれるため、法的義務と倫理的義務を果たす責任も共有することになります。機密情報が多々含まれるお客様の情報を守る義務も、これに該当します。そのような情報を無許可で公開すると、情報が悪意のある者の手に渡り、お客様と当社の評判を危険にさらすおそれがあります。求められた情報は共有しないでください。また友人には、お客様の意図した目的にのみ情報を使用するためにお客様から信頼されていることを念押ししましょう。お客様の意図と異なる使い方をするときは、事前にお客様の許可を得る必要があります。

公共事業契約における コンプライアンス



政府機関のお客様に特化した義務を果たす

どのように勝つか

政府機関のお客様との取引は、暫定的に与えられている特権と考え、政府機関のお客様に特化した義務を果たすよう徹底します。

なぜ「バリュー第一」か

当社は顧客主導の企業です。政府機関のお客様では、民間企業のお客様とは異なる要件がよく課されることを認識しています。これらの要件に十分注意し、細部まで完全に守る必要があります。この対応を通じて当社は、お客様の重視する事柄に注力し、当社の業績や評判を傷つける可能性のある処罰を回避するよう徹底します。

「勝つ」とはということか

当社では、政府機関のお客様に対する取り組みを、以下を行うことで示します。

- ・ 政府機関との契約の重要な要件をしっかりと把握する
- ・ 政府機関との契約、および製品やデータの輸出に関わる適用法すべて、ならびに当社の[「連邦政府契約規程」](#)を遵守する
- ・ 現職公務員や元公務員の採用、または現職公務員や元公務員との取引に関わる各種規則を遵守する
- ・ 内容に関する政府機関からの要請に応じる方法とタイミングを細かく把握しておく
- ・ 機密情報や特別な制限のある情報を思慮深く扱う
- ・ すべての文書とコミュニケーションで正確を期し、誠実であるようにする
- ・ 提案書を提出するときは、必要に応じ、最新の正確な保証価格や価格設定データを使用する
- ・ 競合他社に関する未承認の情報を受け取らないようにする

まず考える

Q: 私は連邦政府との契約に沿った調達を管理しています。政府機関のお客様に販売する製品用のコンポーネントに対し、数ヵ月前にサプライヤーがごく些細な仕様変更を行ったことが今分かりました。サプライヤーからは、ごく些細でコンポーネントを改良する変更だったため、通知しなかったと言われました。それでもこの変更の結果、最近の出荷物が、該当する政府機関のお客様との契約に準拠しなくなったのではないかと心配しています。

A: あなたが気にするのも当然です。政府機関のお客様との取引では、契約の要件を細かく守る必要があります。それを怠ると、結果の変わらない些細な内容に思われる方法だとしても、あるいは製品を改良すると考えられる変更だとしても、結果として契約違反となり、罰金を科されるだけでなく、業務の停止や政府機関の仕事からの撤退にまでつながるおそれがあります。政府機関への報告が義務づけられている場合もあるため、このような問題は、直ちに法務部に報告し、その後の対応について指示を仰ぐ必要があります。

公共事業契約における コンプライアンス



政府機関の契約で特殊な要件が課される理由

当社が政府機関と取り引きする国々では、公的資金が適正に使用されること、政府の調達プロセスと契約プロセスが透明性と率直性、責任、一貫性を持って管理されること、国家防衛と公益が守られることを徹底するため、さまざまな法律が設けられています。

当社では政府機関との契約の多くを米国の連邦政府と交わしています。こうした契約では、以下をはじめとする法規制で複雑かつ厳格な要件が義務づけられます。

- ・ 連邦調達規則（FAR）：政府機関が物品やサービスを購買または賃借する方法を規定
- ・ 国防省調達規則（DFARS）：防衛産業の調達要件を規定
- ・ 国際武器取引規則（ITAR）：防衛に関連する品目とサービスの輸出入について規定



バリュー第一と
市場で勝利すること

国際貿易規制 コンプライアンス



世界中で業務を遂行する

どのように勝つか

当社は世界中に事業展開しており、当社に適用される貿易規制と取引制限のすべてを遵守しています。

なぜ「バリュー第一」か

数多くの国々に及び顧客層と事業は、当社の誇りです。当社が事業を行う場所すべての適用法規制、ならびに国際貿易に課される法規制を当社は遵守します。国防面、または政治面、経済面の理由から、各国政府は機密に相当する機器とデータの輸出入を管理する場合があります。また特定の団体、個人または国との取引を各国政府が規制する場合があります。取引に課される規制に準拠すると、多額の罰則金、許可のはく奪、懲役刑を回避すると共に、世界をより安全な場所に変える動きに貢献できます。

「勝つ」とはどういうことか

当社は以下を行うことで、世界中で責任を持った業務を遂行しています。

- ・ 取引に課される規制に対応した社内規程と社内手続を遵守する（[「貿易コンプライアンス規程」](#)など）
- ・ 米国、欧州連合、またはその他の禁輸リストや制裁リストに登録された相手と知っている場合は、サービスのマーケティングまたは販売、提供を行わない
- ・ お客様の情報に対するアクセス権について、契約または法で定められたすべての制限事項を遵守する
- ・ 取引相手とする第三者組織について、リスクを評価し、デューデリジェンスを確認する
- ・ お客様やサプライヤーなどからボイコット運動に加担するよう依頼された場合には、法務部の注意を喚起する

まず考える

Q: 私は、ジョンソンコントロールズがいつも、製品やソリューションに適した新市場の可能性を模索していることを知っています。最近、ある地域からこれまで販売実績のない製品ラインの引き合いを受けたと海外の卸売業者から連絡を受けました。製品の販売先地域と製品の潜在的用途について、何か規制が存在することは知っています。意図された最終的な使用者と用途を明らかにするため、その卸売業者にいくつか質問しました。回答はあいまいで、できるだけこちらに懸念を抱かせないようにする様子を感じました。この業者が潜在的リスクを理解していたとは思いません。私はどうすべきでしょうか。

A: 国際貿易コンプライアンスまで考慮した対応は賢明でした。海外の市場機会では、この種のリスクについて検討することが大切です。意図された最終的な使用者と用途を完全に把握することなしに製品は提供できないため、この卸売業者への質問を続けてください。同時に、国際貿易問題の可能性について、上司、貿易コンプライアンスチーム、または法務部に上申し、指示を仰いでください。

公正競争／独占禁止法



公正に業務を遂行する

どのように勝つか

当社は積極的かつ公正に競争し、優れた品質と価値を通じて競合他社より優位に立ちます。

なぜ「バリュー第一」か

当社は自由競争市場を信じています。自由競争市場ではジョンソンコントロールズのブランドを差別化できる機会が最大となります。顧客主導を守り、クラス最高のサービスを提供することで、当社は競争を勝ち抜き、ブランドに対する長期的信頼を勝ち取ります。自由市場を推進する法律（米国では「独占禁止法」、他のほとんどの国では「公正競争法」と呼称）は複雑で、違反すると重い罰則を科される可能性があります。当社の競争に不公正または欺瞞と見られる動きがあるだけでも、当社の評判が損なわれ、法的賠償責任が課される可能性があることを認識しています。

「勝つ」とはどういうことか

当社は以下の正当な方法で仕事を勝ち取ります。

- ・ 競合他社との以下のような公式、非公式の合意や行動を回避します。
 - ・ 特定のサービス価格の請求（価格の固定）
 - ・ 入札プロセスの操作（談合）
 - ・ 地理または顧客ごとの市場分割（市場分配）
- ・ 率直かつ正確で、誇張のないバリュープロポジションを示す
- ・ お客様の既存の業務契約に不適切な介入をしない
- ・ [「グローバル独占禁止および公正競争規程」](#)を読み、理解する
- ・ 市場シェアによる地位を決して濫用しない

まず考える

Q: 今年のMetroExpoでパネルディスカッションの開始を待ちながら、競合企業の営業ディレクターと話す機会がありました。その際、私たち双方がサポートする主要都市の設備担当役員について、特に対応しづらい相手だと思わないか尋ねられました。さらに、私たちのような企業がこぞってこの都市との取引を断ったらどうなるかという想像を話し出しました。共通のお客様に関する話題に居心地の悪さを感じたため、私は電話を受けるふりをして講堂の反対側にある座席に移りました。どう対応すればよかったのでしょうか。

A: 会話を打ち切ったことは、正しい対応でした。この懸念を早急に法務部に報告することも、賢明な措置です。トレードショーや交流会は、業界の最新動向について学び、時代から遅れないためには重要な場です。その一方でこのようなイベントでの競合他社とのやり取りには、競争に関する法に触れるリスクを伴う可能性があります。共通のお客様をボイコットすることについて競合企業と話す、特定の市場から企業を締め出そうとする違法な合意を成立させる、あるいは「同調して」特定のお客様に圧力をかけるよう企てたと見なされる可能性があります。

研究上のインテグリティと倫理的なマーケットリサーチの手法



賢く取り引きする

どのように勝つか

当社では常に倫理にのっとった調査を通じて市場の動向と機会に関する最新情報を確保します。

なぜ「バリュー第一」か

競争状態を的確に理解できるように市場の動きをこまめに把握しておく、継続的に改善し、お客様のニーズを予測するうえで役立ちます。当社は誠実さを第一とし、常に倫理的な方法で競合他社に関する情報を収集します。

「勝つ」とはどういうことか

当社は競争に関する情報を以下の要領で適切に収集します。

- ・ 引き合いにあたっては、当社の身許と動機について真実のみを伝える
- ・ 当社の直接関与がはばかれる行動は、第三者を通じても取らない
- ・ 同僚（または入社予定者）に以前の雇用主に関する機密情報を明かすよう頼まない

まず考える

Q: 私は事業開発を担当しており、大規模プロジェクトの入札に向けて交渉を進め、最終的な提案内容を決定しようとしています。今日、見込み顧客の資材部のマネージャーから届いたメールを開いたところ、当社の最終折衝案ではなく、競合相手の最終折衝案が誤って添付されていました。私は競合相手の価格が当社の入札額より25%低いことに気付きました。この競争に勝つために、入札額を引き下げたいと思います。そうしても構わないでしょうか。

A: いけません。当社は「誠実さ第一」を社是としているため、競争に関する情報は合法的かつ倫理的な方法で収集、利用します。ここでお客様のミスが悪用すれば、信頼を裏切ることになります。万一当社がこのような方法でお客様を利用したことが公に知られることになれば、当社が培ってきた正直で公正な取引の定評が損なわれ、結局その契約さえも失うおそれがあります。この情報を利用するより、お客様からそのようなメールが誤って送られてきたこと、そのメールと添付ファイルを削除することをお客様に報告してください。確実に適切な記録文書が作成されるように、そのようなメールが誤って送られてきたことを法務部にも報告し、引き続き元の提案内容の長所に集中してください。競争に関する情報の取り扱いにあたって最優先すべき原則は、競合相手から同じことをされたらどう感じるかを考えてみることです。

贈収賄とその他の汚職



正直に取り引きする

どのように勝つか

当社のバリュープロポジションの魅力に基づき、透明性や信頼に裏打ちされたつながりの構築を通じてビジネスを獲得、維持します。

なぜ「バリュー第一」か

誠実さを第一にすると、信頼できるビジネスパートナーとしての当社の評判がいっそう高まります。当社では「買収」で得るビジネスに関心はありません。また当社は汚職を推奨または許容する相手との取引にも関心はありません。汚職はコミュニティにとって有害です。汚職は市場を歪め、誰にとってもビジネスがやりづらい場に変えていきます。地元の慣行や他社のやり方がどうあれ、当社はいかなる汚職にも関与せず抵抗します。相手が官僚であろうと、私企業であろうと、当社では、見かけ上不適切に見える振る舞いも回避します。

「勝つ」とはどういうことか

当社は以下の要領で贈収賄とその他の形態の汚職に断固反対します。

- ・ ビジネス上の便宜を得るために、官僚やその他の相手に価値のあるものの提供を提案したり、約束したり、実際に提供したりすることは、断じて行わない
- ・ 賄賂やバックマーゲンの提供を持ちかけられた場合は、受け取りを断り、コンプライアンス部門に通知する
- ・ すべての支払いが細部まで正直に記録され、会社の資金が違法な目的に使われないように、正確かつ完全な記録を作成、維持する
- ・ あらゆる第三者提携業者で、適切なデューデリジェンスを実行する
- ・ 当社が直接実行することがはばかれるような不正な支払いに、代理店や他の第三者を利用しない
- ・ 当社の [「第三者に対する旅費、贈答品、接待の提供に関する規程」](#) と [「汚職防止規程」](#) を遵守する
- ・ 不正な可能性があると思われる支払いについて漏れなく報告する

まず考える

Q: 私のチームでは、発展途上地域での大規模な都市再開発プロジェクトに入札しようとしています。このプロジェクトでの任務達成にパートナーは必要ありませんが、この都市当局の資材担当役人から、当社の下請けとして利用するため、ある地元企業と会ってみよう強く勧められました。この企業のCEOと官僚にはコネがあるように見えます。このミーティングの話をそのまま進めるべきでしょうか。

A: ここには汚職の兆候が見受けられます。1つは官僚と密接なつながりを持つ下請け業者を通じてビジネスを獲得するという提案、もう1つはこのお客様に製品やサービスを提供するために当社は下請け業者を必要としないという事実です。汚職にはさまざまな様態があり、官僚への直接的な贈収賄の形を取らなくても汚職に相当する場合があります。この場合、推奨された下請け業者を利用する必要がないことをこの資材担当役人に伝え、ミーティングを丁重に断る必要があります。何か少しでも気がかりに思うことがあれば、コンプライアンス部門または法務部に相談してください。

贈収賄とその他の汚職



これは汚職でしょうか。

汚職にはさまざまな様態があり、危険の兆候がないか注意する必要があります。以下には他の当事者も含まれます。

- ・ 当社の「グローバル仕入先基準」への同意を断る
- ・ 汚職防止に関する契約要件に反対する
- ・ 官僚と密接なつながりを維持する
- ・ 通常より高い手数料や現金決済、他者名義の口座への支払いを要求する
- ・ 必要なサービスの実施に見合わない資格を提供する
- ・ 不透明なビジネスの評判がある

第三者の知的財産権と商権



尊重の念をもって取り引きする

どのように勝つか

当社では、当社の知的財産権と商権の尊重を他者に求めると同様に、他者の知的財産権や商権を尊重します。

なぜ「バリュー第一」か

当社では他者の知的財産権や商権を尊重します。当社では自社で開発していないアイデアの権利を主張したり、盗用したりしません。保護された他者の権利を無許可で利用すれば、法に背き、法的賠償責任を問われる可能性が生じることを当社では理解しています。

「勝つ」とはということか

当社では以下の要領で、尊重の念をもって取り引きしています。

- ・ 他者が生み出したアイデア、プロセス、作品を尊重し、保護された他者の権利を侵害しない
- ・ ソフトウェア、音楽作品、動画、文章からなるコンテンツなど、第三者の資産は、必ず許可を得たうえで、該当するライセンス条件に従って使用する
- ・ 当社から承認を得たソフトウェアとプロセスのみ使用する
- ・ 適用される知的財産法に従う



バリュー第一と
投資家のために勝つこと

利益相反



会社にとって最大のメリットとなるよう行動する

どのように勝つか

個人的な利害より、会社とお客様のメリットを優先して、賢く、客観的な選択を行います。

なぜ「バリュー第一」か

当社ではお客様の勝利を目指して一致協力します。個人的な利害や関係が、「1つのチーム」として勝つことに影響を与えることを当社では許容しません。当社では誠実さを持って、思慮深くオープンな意思決定を行います。これは、当社のビジネスに有益であり、当社が行動の正しい信頼できる企業であることをすべての人に示すこととなります。

「勝つ」とはということか

当社では以下の方法で会社の最大のメリットを目指して行動します。

- ・ 関連する事実と健全な判断に従い、公平無私な態度で業務上の判断を下す
- ・ 利益相反（個人的なメリットの可能性など）によって、判断が実際にまたは見かけ上、左右されかねない事態を避ける
- ・ 利益相反が避けられない場合は、適切に対処できるように、その利益相反について報告する
- ・ 問題があるかはっきりしない場合は常に助言を求める

利益相反とは何ですか。

社会的関係や家族関係、社外活動、経済的投資などの個人的利害が、全社を代表して公平無私に判断する能力に干渉するおそれのある状況はすべて、利益相反に該当します。見かけ上、利益相反の様態を呈するだけでも、他者から不正な行動を疑われる可能性があるため、見かけ上の利益相反も注意深く避ける必要があります。

次のように自分に問いかけてみてください。

懸案の判断または行動について、

1. ほかに人に対し何らかの義務を感じますか。
2. ジョンソンコントロールズの価値観と一致しない部分はありますか。
3. （ごくわずかでも）自分や家族から影響を受けていますか。
4. 会社の利害を第一に考えていないように見えますか。

これらの質問に対し、1つでも「該当する」または「該当するかもしれない」と回答した場合、[10ページに記載したリソース](#)を利用して助言を求めることが大切です。利益相反の可能性があると考える場合は、JCIComplianceForms.comで報告する必要があります。

利益相反にはさまざまな様態があります。次のガイドには、比較的よくある状況がいくつか掲載されています。当社の[「利益相反規程」](#)も参照してください。

利益相反



親族や友人

友人や家族を助けたいという願いが業務上の意思決定に影響を及ぼすことを当社では許容しません。

当社では、以下の要領で個人的な関係が、業務上の客観性に影響を及ぼすリスクを回避します。

- ・ 従業員、研修生、契約業者の別を問わず、親しい友人同士や親族同士が直接の上司と部下の関係にならないようにする
- ・ 親しい友人や親族が関わる雇用関連の意思決定（人材採用、昇進、懲罰など）は他者に任せる
- ・ 親しい友人や親族をジョンソンコントロールズに対するサービス提供者として検討するときは、透明性と独立性を確保するために所定の手順を踏む
- ・ ジョンソンコントロールズの元従業員を相談役や契約業者、サプライヤーとして採用するにあたっては、慎重に公正な意思決定を期す

本人や家族の投資

当社での意思決定は、従業員本人や従業員の家族が経済的利益を得る可能性に左右されてはなりません。

当社では、以下の要領で従業員個人の経済的な利害を業務上の意思決定から完全に切り離します。

- ・ ジョンソンコントロールズの関連企業や競合企業に大きな*経済的利益を持たない
- ・ 近親者がジョンソンコントロールズの関連企業や競合企業に雇用されている場合、またはこれらの企業に大きな*経済的利益を持っている場合はコンプライアンス部門に報告する

* 経済的利益の大小を判断する基準については、コンプライアンス部門にお問い合わせください。

贈答品と接待

当社がビジネスを獲得し、関係を築くときは、必ず信頼と互惠性を基盤とし、不適切な贈答品や接待は利用しません。

当社では以下の要領で贈答品や接待の提供に関して発生し得る問題を排除します。

- ・ 商談の一環である場合に限り、相手方組織の規程に違反しない範囲で、妥当な内容の食事や接待を提供する
- ・ 相手方の行動に影響を及ぼすことを意図した贈答品や接待を提供したり受けたりしない
- ・ 取引相手や見込まれる取引相手に贈答品を提供する場合は、常識の範囲を超えない価値の贈答品に限定する
- ・ 現金や換金性の高い贈答品は絶対に提供しない
- ・ 政府機関のお客様に対する贈答品や接待は、コンプライアンス顧問から許可と事前承認を得た場合にのみ提供する
- ・ 第三者の移動費や宿泊費を負担する場合は、社内規程に沿って妥当な額を、事前承認を受けた場合に限り負担する
- ・ 贈答品や接待、移動などの提供はすべて、合法的かつ倫理的なものとし、当社の価値観に反しないもののみとする

利益相反



当社では、贈答品や接待の受け取りに関係して発生し得る問題を、以下の要領で排除します。

- ・ 常識的な価値の贈答品のみを受け取る
- ・ 現金または現金同等物の贈答品は受け取らない
- ・ 第三者から移動手段や移動費の提供は受けない
- ・ スポーツ、演劇または文化的イベント（スポーツイベント、ゴルフ、コンサートなど）または食事によって接待を受ける
- ・ 移動の手段や費用、当社の「[贈答品および接待の提供に関する規程](#)」に違反する贈答品や接待は礼儀正しい態度で辞退する

まず考える

Q: ■ 私のチームは大きな契約に入札しようとしており、その結果はすぐ分かると考えています。私が出席する予定の会議に、見込み顧客の重要な意思決定者も出席するからです。ジョンソンコントロールズを採用してくれるよう最後の売り込みをかけるため、この人物を夕食に招待してもよいでしょうか。

A: ■ お客様に不正に影響を与えようとする動きと見なされる可能性があるため、その案は推奨できません。「誠実さ第一」を実行することで、お客様が当社を選ぶ理由が、当社から高価な贈答品や気前の良い接待を受けたからではなく、当社の製品やカスタマーサービスの品質に基づくようになります。お客様の購入判断時期が差し迫っているため、そのような行動は、厳格に禁止されているにもかかわらず、業務上の意思決定に不正に影響を与える試みと見なされる可能性が多分にあります。入札プロセス中は特に注意深く行動する必要があります。取引先が官僚以外であれば、商談時にお茶を提供して関係を築くことや、見込み顧客がジョンソンコントロールズについて持ちそうな疑問のあれこれに答えることは適切です。

利益相反



法人の機会

当社では、お客様の勝利をより確実にサポートするために、業務の一環で入手した知識、そして会社のリソースや資産を使用します。

当社では次の行動を**避ける**ことによって、利益相反や業績への悪影響を回避します。

- ・ 業務の一環で知り得た事業や投資の機会を個人的利害のために活用する
- ・ 個人的な利益を不正に得るために、会社の所有物や情報、ジョンソンコントロールズでの職位を濫用する
- ・ ジョンソンコントロールズと直接または間接的に競合する

社外活動

ジョンソンコントロールズでは毎日の社内業務に最善を尽くすものとし、社外の副業や社外活動によって会社での事業貢献が疎外されることを許容しません。

当社では従業員が生産的で充実した社外生活を送るようまい進していますが、次の行動は**禁止**されています。

- ・ ジョンソンコントロールズ社内の職務や業績に悪影響を与える
- ・ 競合他社やサプライヤーのために働く
- ・ 会社の事業や評判に悪影響を与えるリスクを冒す
- ・ 他の従業員やベンダーも含め、会社のリソースを社外の利害のために利用する
- ・ その他いかなる種類であっても、利益相反を生み出す

まず考える

Q:

最近、自宅を改築したことから、売却目的で「改築物件」を購入し、利益を得たい、さらには不動産取引業者免許も取得できないかと考えるようになりました。私は心からジョンソンコントロールズに尽くしており、家の改築に対する自分の興味は、業務に差し支えない範囲と考えています。このことは問題となるでしょうか。

A:

当社では従業員の皆さんに、業務外でも充実し、実りの多い人生を送ってほしいと願っています。それと同時に、当社の従業員はすべて、毎日ジョンソンコントロールズにすべての注意と最善の努力を払うよう期待されています。家屋の改修と販売に費やす分、自分の努力負担が増えても、個人的生活と業務上の責任との間で適切なバランスを保っていくことができるか、自分で判断する必要があります。このことが利益相反に該当する可能性があると考え場合は、[JCIComplianceForms.com](https://www.jci.com/compliance/forms)で報告する必要があります。

記録保存と開示



正確な記録およびアカウントの作成と維持

どのように勝つか

当社では正確な記録とアカウントを維持することで、より効果的に業務を遂行し、信頼できる情報を必要とする相手に、タイミングよく正確な情報を提供しています。

なぜ「バリュー第一」か

上場企業であるジョンソンコントロールズには、正確な財務記録の維持と開示が義務づけられています。法的義務である一方で、適切な記録管理は効率的で収益性の高い事業運営にも欠かせない要素です。当社では従業員一人ひとりが正確かつ最新の記録維持に貢献します。このような対応で、お客様や投資家をはじめとする利害関係者の皆様から昔も今も変わらぬ信用と信頼を得ています。

「勝つ」とはどういうことか

当社では以下の要領で正確な記録とアカウントを維持します。

- ・ 適切な期間にわたり、タイミングよくすべての資産、負債、収益、費用、業務取引を漏れなく正確に記録する
- ・ 一般的に受け入れられた会計原則と社内の管理システムに即した記録とアカウントになるよう徹底する
- ・ 機密や記録外の現金資金、その他の資産や負債を絶対に作らない
- ・ 記録作成にあたっては、適切かつ正確な言葉を使う
- ・ 調査対象の文書や記録、または訴訟で必要となる可能性のある文書や記録を絶対に秘匿したり破棄したりしない
- ・ 法的証拠保全通知を遵守する
- ・ 社内記録の保持と破棄にあたっては、記録保持と情報管理に関する社内手続を遵守する

まず考える

Q: 社内の記録管理規程では所定の期間を経過した特定の記録を削除する必要があると知っています。文書の所在が分からず問題となったことが過去にあったため、私はこれまでである1つの事案について自分の担当する記録をすべて保管してきました。これは良い考えでしょうか。

A: いいえ。社内で定められた記録保持規程とスケジュールに忠実に従う必要があります。これらの規程は、古くなった記録を会社が正当な資格に基づいて破棄するためのものであり、これらの規程を守らない場合、会社が選択的な資料破棄のそしりを受ける可能性が生じます。所定期間を超えて記録を保持すると、社内のストレージシステムに余計な負担がかかり、機密情報の不正アクセスや濫用のリスクが生じます。さらに、個人的データやビジネスパートナーから取得した機密情報など、不要となった情報を削除する法的義務が従業員に課されている場合もあります。規定のスケジュールどおりに記録を保持すると、当社の記録管理プログラムを強化し、会社を守ることとなります。

物理的財産と資産、当社の評判、 当社の機密情報と営業秘密

会社の資産を守る

どのように勝つか

ジョンソンコントロールズの評判とその他の資産は、当社の未来を築く必須要素であり、当社はこれらを保護します。

なぜ「バリュー第一」か

当社では将来を特に重視します。今持っているものを最大限に有効活用することで、私たちは将来も勝てる会社となります。当社の資産（物的所有物、資金、情報、アイデア、および評判）は事業運営の基盤であり、これらの資産があるからこそ、当社はイノベーションや継続的改善に投資できます。私たち従業員は善良な管財人として振る舞い、製品やサービスを通じてお客様に卓越した満足を提供するため、当社が投資家にとって魅力的な投資対象であり続けるために、これらの資産を活用します。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは、以下を行うことで、ジョンソンコントロールズの資産を守ります。

- ・ 自らが管理する資産の喪失、損傷、破壊、盗難、または不正利用を防止するよう妥当な注意を払う
- ・ 会社の資産に関連する詐欺、浪費、または濫用を防止するよう注意を払う
- ・ [取引記録保持規程](#)やその他の会社規程に従い、記録や情報を管理する
- ・ 会社のシステムやデータを、偶然または故意に関わらず、不正なアクセス、改ざん、複製、破壊、または開示から保護するよう、情報セキュリティおよび使用者のアクセスに関する手順に従う
- ・ 会社の資産は、個人利用の特例が妥当かつ臨時的に適用されない限り、事業目的でのみ利用する
- ・ [会社の資産](#)の利用、濫用、または危機的状況についての懸念があればすべて報告する

さまざまな資産、同じ原則

会社の資産は、さまざまな形式を取ります。それらをどのように保護するかは、資産と個々の役割に応じて異なります。しかしいずれの場合も、同じ原則が適用されます。その原則とは、「注意を怠らず、分別を働かせる」ということです。

情報資産：当社の製品、ビジネス、または業務の実施方法に関するすべてのデータ。データの作成、配布、使用、または保存方法は問いません。

金融資産：金銭、および株、証券、銀行預金など金銭に変換できるものすべて。

物理的資産：当社業務の実施にあたり使用される会社所有のすべての有形物（施設、機械、ツール、コンピュータ、携帯電話、原材料、車両、オフィス機器、備品など）。

無形資産：当社の評判、アイデア、発明、知的財産、デザイン、著作権、商標、特許、および企業秘密。これらの資産により、私たちはイノベーションを推進し改善を促すことができます。

物理的財産と資産、当社の評判、 当社の機密情報と営業秘密

以下のガイダンスでは、私たちが注意を怠らず、分別を働かせるために必要ないくつかの重要な特定分野について説明します。

専有情報および企業機密情報の保護

私たちが企業機密情報や知的財産を守るのは、それらが市場をリードする力を私たちに与えてくれるからです。

他社が持たないアイデアを構築し、技術的ノウハウを活用することで、当社の未来を推進させ、顧客を勝ち取ることができます。当社の企業機密情報および知的財産は、当社と競合他社の差別化を図る重要なビジネス資産です。私たちは、これらを不正な開示や濫用から守る必要があります。

私たちは以下を行うことで、当社の専有情報や秘密情報を保護します。

- ・ 機密情報を共有する相手を、権限が与えられている人、および業務上そのデータにアクセスする必要がある人に限定する
- ・ 盗み聞きされるおそれがあるときは、機密事項についての話をしない
- ・ 職場の外では、文書や電子機器が他人の目に触れないよう徹底することに気を配る
- ・ 自分個人の利益、またはジョンソンコントロールズに属さない人の利益のためには、機密情報を決して使用しない
- ・ 会社の機密情報を保護する義務は、退職後も継続することに注意する

米国および米国領土で働く従業員は、給与、労働時間、その他の雇用条件、個人情報、および/または雇用情報について、同僚、または行政機関、労働組合、メディアなどの第三者と話し合う権利を保有します。

米国およびその領土外で働く従業員は、従業員が勤務する地域で適用されている雇用条件、個人情報、および/または雇用情報の共有に関する法律および規制に従う必要があります。現地の法律でこれらの情報を共有することが許可されている場合、従業員は情報を共有することができます。現地の法律で機密を保持することが義務付けられている場合、従業員はこの情報を共有することはできません。

まず考える

Q:

■ 昨夜は地元のエンジニアリング会社で働く高校時代の旧友と夕食を共にしました。私たちは、各々の会社がイノベーションに注力し、実社会の問題解決に貢献していることについて、互いに自慢合っていました。私は彼女に、自社で開発中の最新製品について、それがいかに顧客の問題を解決する製品であるかを中心に、大まかに話しました。夕食が終わってから、私は自分が話すすぎたのではないか、このことが会社のアイデアや財産を危険にさらすことになるのではないかと不安に感じました。

A:

■ あなたが気にするのも当然です。あなたの友人は直接の競合企業ではありませんが、それでも公知となっていない会社情報について話す際には十分に注意を払うことが大切です。当社の知的財産、企業秘密、その他の秘密のアイデアや情報は、当社の競争上の優位性を左右する重要な資産です。あなたが当社の製品に関する非公開情報を不注意で漏らしてしまったと思った場合は、コンプライアンスチームまたは法務部門に相談して、指示を仰いでください。

物理的財産と資産、当社の評判、 当社の機密情報と営業秘密

「機密情報」とは何か

以下は、Johnson Controls 社外の第三者と共有されるべきでない機密のビジネス情報の例です。

- ・ 商標、特許、企業秘密、その他の知的財産
- ・ 非公開の財務情報や予測
- ・ 新製品またはマーケティング計画
- ・ 研究開発のアイデアや情報
- ・ 製造プロセス
- ・ 詳細な調達情報
- ・ 将来的な買収、売却、投資に関する情報
- ・ 法的意見や作業成果物
- ・ 競合他社に有益な可能性がある、その他の情報

会社の技術や情報システムの利用に責任を持つ

私たちは、効率的に作業し、当社のビジネス目標を達成するため、ジョンソンコントロールズの技術や情報システムを責任を持って利用します。

私たちが毎日頼りにするシステムや技術なくして、1つのチームとしてお客様のために働くことは不可能でしょう。モバイルPC、モバイル機器、電子メール、およびそれらを支えるインフラストラクチャにより、より生産的に作業し、より効果的に意思疎通し、より良いサービスをお客様に提供できます。これらの技術により、当社が革新を遂げ、継続的に改善していくために必要な情報にアクセスし、共有することができます。しかしこれらの不適切な使用は、当社のリソースを枯渇させ、信頼を損ない、当社のブランドや評判を傷つけるおそれがあります。

私たちは以下を行うことで、技術やシステムを安全かつ適切に利用します。

- ・ 権限のある者が必要があるときのみシステムにアクセスできるようにする
- ・ 権限のある使用者が仕事に必要なシステムやデータにのみアクセスできるようにする
- ・ パスワードを保護し、定期的に変更するとともに、他人に決して知られないようにする
- ・ 機密情報をインターネットに掲載しない
- ・ 未承認のソフトウェアをダウンロードしたり、疑わしい添付ファイルを開いたりしない
- ・ 認められた個人デバイスのみを、ジョンソンコントロールズのネットワークに接続する
- ・ ハードウェアの喪失、損傷、または盗難を防止する措置を講じる
- ・ 迷惑または不快なコンテンツを含むメッセージを絶対に送信しない
- ・ 不適切なウェブサイトを開覧しない
- ・ 会社の機器やシステムの個人利用は、合理的かつ偶発的な場合のみとする

物理的財産と資産、当社の評判、 当社の機密情報と営業秘密

会社の評判を守る

私たちは、行動のすべてにおいて、誠実で顧客主導のイノベーションを行う会社としての評判を維持するべく努力しています。

評判は、私たちにとって最も貴重な資産の1つです。私たちは、130年以上にわたりそうした評判を築き上げてきた一方で、常に将来を見据えています。私たちはそれぞれ、日々の行動や意思決定の中で、ジョンソンコントロールズの評判を守るための責任の重さを感じる必要があります。誠実に行動し、当社の価値観を行動で示すことで、従業員、顧客、およびビジネスパートナーから信頼や信用を獲得し続けることができます。

私たちは以下を行うことで当社の評判を守ります。

- ・ 当社の中核的価値観を実践する
- ・ 常に健全なビジネス上の判断を下す
- ・ ジョンソンコントロールズの良きアンバサダーとしての役割を果たす
- ・ 当社の名声を常に維持できる意思決定と行動をするよう徹底する

私たちの評判

130年に及ぶ歴史は誇るべきものです。しかし評判というものは、他者が私たちとの最近の取引から得た経験と、次の取引への期待感からなることを忘れてはいけません。

詐欺の防止

誠実さに向けて取り組むということは、当社が詐欺、浪費、および濫用に対して常に目を光らせることを意味します。

ジョンソンコントロールズには、詐欺、浪費、および濫用が入り込む余地はありません。誠実さと信頼の文化に向けた当社の取り組みは、こうした濫用を防止するため、また万が一それらが発生した場合に検知し是正するための、一番確実な方法です。

私たちは以下を行うことで、詐欺、浪費、濫用を防止します。

- ・ 出張、接待、その他の費用について、帳簿や記録簿に完全かつ正確に記載します。[グローバル出張、接待、従業員経費規程を参照してください。](#)
- ・ 金融取引について、適切な分類と会計管理を行う
- ・ 必要な時間枠内で、当社が提供したサービスに関してのみ請求処理を行う
- ・ 約束どおりの割引を提供する

物理的財産と資産、当社の評判、 当社の機密情報と営業秘密

- ・ すべての調達規程に従い、必要な商品やサービスのみを注文する
- ・ 会社のキャッシュカードやクレジットカードを、業務以外の目的では決して使用しない
- ・ 会計手続きや法的義務に関して不明な点があるときは、説明を求める
- ・ 不適切または疑わしい行為についての懸念があれば、直ちに報告する

私たちの施設の保護

私たちは施設や機器を危害から守り、顧客の成功に貢献できるよう常に準備を整えます。

施設の安全確保により、従業員に安心かつ快適な環境を提供しながら、機器や資材を損傷、盗難、または産業スパイから守ることができます。

私たちは以下を行うことで、当社の施設を守ります。

- ・ 常に社員証を身につけ、同僚にもそうするよう促す
- ・ セキュリティ保護されたドアを開けたままにしたり、社員証を持たない人を自分の後に続いて入らせたりしないようにする
- ・ 当社のキー、社員証、またはアラームコードを決して他者に渡さない
- ・ オフィスや車のドアをロックする
- ・ 漏れ、機器の故障、またはその他の保守上の問題が発生したら、速やかに管理者に報告する
- ・ すべての防火設備とセキュリティ機器を定期的に点検する
- ・ あらゆる警報に即時対応する（通常の営業時間後であっても）
- ・ 外部の人物が許可なく当社の施設に入らないようにし、侵入者を発見したら警備担当者に知らせる
- ・ 当社の従業員、施設、または業務に実際または潜在的に危険をもたらすセキュリティ上の懸念や危機が生じた場合は、ジョンソンコントロールズ・グローバル・セキュリティ・オペレーションズ・センター（GSOC）まで電話（+1 414 524 6700）またはメール（gsoc@jci.com）でご連絡ください。
- ・ 差し迫った危険がある場合は、地元の警察や救急機関に通報してください

インサイダー取引と 証券取引規制違反



インサイダー取引の防止

どのように勝つか

私たちは決して、株式市場での取引のために、ジョンソンコントロールズや他の企業に関する内部情報を利用または漏洩しません。

なぜ「バリュー第一」か

私たちは、業務を遂行する過程で、ジョンソンコントロールズや他の企業に関して、投資家に役立つような情報にアクセスする場合があります。誠実さを第一に考えるということは、託された情報の保護に関して、私たちが常に信頼に足る存在であると示すことを意味します。「内部」情報とは、投資家が投資上の意思決定を下す際に重要だと考える詳細情報から成ります。こうした情報は、重要な非公開情報とも呼ばれます。こうした情報を自分自身の利益のために使ったり、他者の利益のために漏洩したりした上で行う取引のことを、インサイダー取引と言います。こうした行為は、不公平な優位性をもたらす、金融市場をゆがめるため、違法とされています。インサイダー取引関連法は厳格に実施されており、しばしば有罪者は高額な罰金や懲役刑が科せられています。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、インサイダー取引を防止します。

- ・ 内部情報を知り得たとしても、その情報が市場に公開され、浸透するまで、決してその情報を利用してジョンソンコントロールズや他の公開企業の株式を売買しない
- ・ 家族、親戚、友人を含め、社外の誰にも内部情報を漏らさない
- ・ 同僚と内部情報を共有するのは、その必要がある場合のみに限定する
- ・ 会社の文書を慎重に取り扱い、公共の場所で話題にするのを控えることで、内部情報の意図せぬ開示を防止する
- ・ いずれかの企業の重大な非公開情報を、その情報に基づいて取引しそうな誰かに漏らす「ティッピング」行為はしない

まず考える

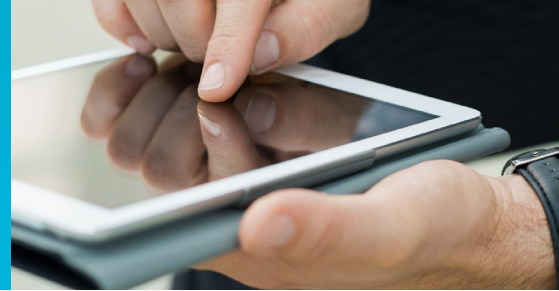
Q:

私の叔父は、世界的な金融危機以来、投資の損失を回収できず、子供たちの学費の工面に苦勞しています。そんな彼から、ジョンソンコントロールズの株を買うべきか尋ねられました。当社はもうすぐ新製品の発売を予定しており、株価の上昇が期待されるので、そのことを教えてあげれば、叔父は大いに助かると思います。私は新製品の発売について話したり、株の購入を勧めたりしてもよいでしょうか。

A:

絶対に行ってはいけません。製品発売に関する詳細情報は、あなたの叔父様に不公平な取引優位性をもたらす可能性がある重大な非公開情報です。そのような情報を伝えることは違法です。叔父様には、あなたはジョンソンコントロールズの従業員であるため、株取引に関する意思決定を左右するような情報は提供できないと伝えてください。また、当社ウェブサイトの[投資家情報](#)のページを閲覧するか、具体的な質問がある場合は当社のIR部門に問い合わせるよう伝えてください。

責任あるコミュニケーション



責任あるコミュニケーションを通じた信頼と評判の構築

どのように勝つか

私たちは、思慮深く、正確で、一貫性のあるコミュニケーションと、責任あるソーシャルメディア活動を通じて、利害関係者との関係や当社のブランドを強化しています。

なぜ「バリュー第一」か

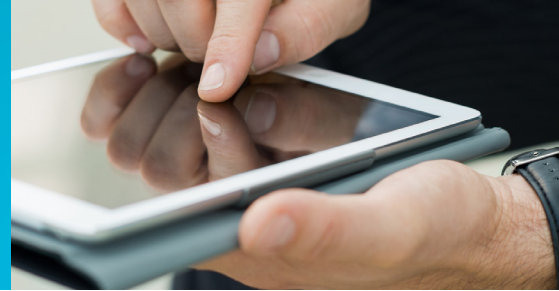
私たちは、顧客、投資家、その他の利害関係者と、誠実かつ正確で、一貫したコミュニケーションを行います。こうしたコミュニケーションは、単なる取引を越えた信頼に基づくビジネス、長期的な関係、および相互価値を構築する上で不可欠です。私たちは、自分たち一人ひとりがジョンソンコントロールズブランドのアンバサダーであることを忘れません。私たちは市場で当社のバリューを示すだけでなく、責任を持ってソーシャルメディアを活用し、外部からの問い合わせに適切な権限と経験を持って対処することを通じて、当社の評判を守ります。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、当社のブランドや他者との関係を強化します。

- ・ 社外からの問い合わせへの対応や、ソーシャルメディアの活用をする際には、当社の「[コミュニケーション規程](#)」に従う
- ・ ジョンソンコントロールズを代表しての情報発信は、その許可を受けた場合のみ行う
- ・ オンラインでのやり取りでは、丁寧でプロフェッショナルな姿勢を保つ
- ・ 私たちのオンラインでの行動は、たとえ仕事外であっても、善かれ悪しかれジョンソンコントロールズに影響を及ぼし得ることを忘れない
- ・ ジョンソンコントロールズを代表して発言する権限を与えられない限り、個人としての意見であることを明らかにする
- ・ (当社、顧客、その他のビジネスパートナーについての) 機密情報や専有情報を決して開示しない
- ・ 一般的な電子メールや立ち話の内容など、社内的な従業員同士のやり取りを公開しない
- ・ 他者を中傷したり脅したりしていると判断されるような違法なコンテンツなどを決して投稿しない
- ・ ジョンソンコントロールズでの職務の遂行を阻害するようなソーシャルメディア活動は行わない

責任あるコミュニケーション



まず考える

Q: 私はソーシャルメディアで同僚をフォローしています。時々、彼は当社の上層部を批判するコンテンツを投稿しています。彼のプロフィールを見れば、ジョンソンコントロールズの従業員であることがはっきりと分かります。彼には自分の個人的な意見を表明する権利があるのは分かっていますが、彼がしていることに釈然としません。彼は、当社の規程やガイドラインに違反しているのではないのでしょうか。

A: いいえ、あなたの同僚は当社の規程やガイドラインに違反していません。彼には自分の個人的な意見を表明する権利があります。しかし会社についての意見を述べるなら、もっと公でない形を検討してもよいかもしれません。ソーシャルメディアは、私たちに広範囲にわたる新しいコミュニケーション手段を提供してくれますが、従来のコミュニケーションと同様に、分別のある言動が求められます。その原則には、従業員は許可されない限り会社を代表して意見を述べてはいけない、機密情報や非公開の情報を開示してはいけない、不正または違法なことを述べてはいけない、などが含まれます。

ソーシャルメディアを通じてつながり、コミュニケーションを図り、学ぶ

ソーシャルメディアは、ジョンソンコントロールズと全世界の顧客、地域社会、および利害関係者とを瞬時につなげる強力なツールです。これにより、当社は関係の強化やブランドの構築を図ることができます。私たちの多くは、私生活の中でソーシャルメディアを使用し、友人や家族と連絡を保っています。何かを間違っ解釈されたり歪曲されたりするリスクを最小化するには、自らのオンラインでの振る舞いに注意し、投稿する内容について慎重であるべきです。



バリュー第一と
仕入先との成功の分かち合い

調達



責任ある仕入先選択

どのように勝つか

私たちは、顧客を勝ち取る最大の機会を与えてくれる仕入先を、公正かつ客観的に選択します。

なぜ「バリュー第一」か

私たちは、相互の利益と信頼に基づく、有意義で長期的な関係を仕入先と構築したいと考えています。こうした関係は、市場において成功し、卓越した顧客満足体験やソリューションを提供する手助けをしてくれます。私たちは、誠実性に向けた当社の取り組みを共有できる仕入先と、協力し合いながら仕事をするを望んでいます。仕入先が私たちと同様に当社の顧客の成功に注力してくれれば、顧客の成功が仕入先の成功にもなります。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、責任ある調達を行います。

- ・ 取引額や関係の長さに関わらず、現在の仕入先や仕入先候補のすべてを公正かつ誠意を持って扱う
- ・ 当社のニーズを最も満たし、価値観を同じくする仕入先とのビジネスを模索する
- ・ 法的要件（米国調達公正法や連邦海外腐敗行為防止法など）を遵守する
- ・ 仕入先の候補に対しては適切なデューデリジェンスを実施し、その適格性と信頼性を確認する
- ・ 品質、価格、サービス、信頼性、可用性、技術的卓越性、納品スピード、倫理的なビジネス手法など、明確なパフォーマンス指標に基づいて選択を行う
- ・ 多様かつ包括的な仕入先基盤の構築を推進する
- ・ 友人関係や家族関係に基づく仕入先を選択しないようにすることで、利益相反や、利益相反のように見られることを回避する
- ・ ジョンソンコントロールズにとって最良のパートナーを選択することを阻害するような、不適切な贈り物、接待、または何らかの便宜を受けない

サプライチェーンにおける 権利濫用の禁止



人権の尊重と保護

どのように勝つか

私たちは、いかなる場所でも人権を尊重し保護するビジネスパートナーとのみ仕事をするので、倫理的なサプライチェーンを維持するよう取り組んでいます。

なぜ「バリュー第一」か

私たちを導くのは、会社の目標です。その目標には、世界中の人々の権利を尊重し、保護するという約束も含まれます。私たちは、人々を適切に支えることが、豊かな未来への鍵であると信じています。そのため私たちは、児童労働、強制労働、奴隷、および人身売買のない倫理的で透明性のあるサプライチェーンを維持することに注力しています。

国連グローバル・コンパクトに早期加盟したことから分かるように、私たちは人権と持続可能な価値の創造との間を結び付け、社会に利益をもたらします。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、当社の業務やサプライチェーン全体で人権を尊重し保護するよう取り組んでいきます。

- ・ ジョンソンコントロールズのすべての施設で、安全かつ健康的に働くことができる状況を提供する
- ・ 従業員の団結する権利と団体交渉をする権利を尊重し、決してその代表者を差別しない
- ・ 市場に照らして適正な給与を支払い、報酬に関連するあらゆる法的要件を十分に満たす
- ・ 従業員には、現地法で許可されている勤務時間や残業時間を超えて勤務させない
- ・ 新しいベンダーを選ぶときには、ビジネスパートナー候補に関する適切なデューデリジェンスを実施し、調達規程に従うと共に、人権侵害をしていない企業を開拓する
- ・ 仕入先やベンダーに、当社の[グローバル仕入先基準を遵守するよう求める](#)
- ・ 紛争鉱物を調達または使用しないようビジネスパートナーに指示する
- ・ 人権問題を知り得た場合、法務部門または[Integrityヘルプラインに報告する](#)

人権の尊重と保護に関するさらなるガイダンスについては、[人権とサステナビリティ](#)、[奴隷と人身売買](#)、[仕入先の多様性](#)および[紛争鉱物](#)に関する当社の規程を参照してください。

人間第一：すべてはつながっている

人権問題は、当社のサプライチェーンについて気を付けていれば事足りる問題ではありません。人々が職場で、市場で、また私たちの地域社会でどのように扱われるべきかを考えることが重要です。

私たちは、グローバル企業として、明白な影響力を持っています。この分野における当社の姿勢は、当社の[人権とサステナビリティ規程](#)に反映されています。この規程は、人権に影響を与える、次のような数多くの問題について言及しています。

- ・ 安全衛生
- ・ 労働条件
- ・ 贈収賄と汚職
- ・ 環境に対する考慮
- ・ ガバナンス
- ・ 透明性のある報告と説明責任

サプライチェーンにおける 権利濫用の禁止



まず考える

Q: 私は最近、発展途上国にある当社の主要な仕入先の施設を見学しました。労働者の中には年端も行かない子供がいるように感じました。2日間の見学は朝から晩までに及んだのですが、その子たちは早朝から深夜まで働いていました。この地域では違法な児童労働と労働時間の問題が根深いようです。この仕入先は評判も良いですし、適用されるすべての労働法に準拠していると豪語していました。私はこの件について声を上げたり、上層部に報告したりするべきでしょうか。

A: ジョンソンコントロールズは、国連グローバル・コンパクト加盟団体として、また一般的に人権を擁護している組織として、児童労働やその他の労働虐待を看過しません。当社の仕入先で労働虐待や人権侵害が行われている疑いがある場合は、調査ができるように、その旨を上司やコンプライアンス部門、または[Integrityヘルプライン](#)に報告する必要があります。

サプライヤーの期待



グローバル仕入先基準の推進

どのように勝つか

当社の仕入先は、当社と同様の高い水準で、常に誠実に業務を遂行することが期待されます。

なぜ「バリュー第一」か

私たちは、誠実に行動すること、敬意を示すこと、約束を守ることの正当性を確信しています。当社とのビジネスを望む相手からも、同じことを期待します。当社の[グローバル仕入先基準](#)は、これらの期待事項を明確に定めています。当社の仕入先は、これらの標準を熟知、遵守することで、倫理的かつ責任を持って当社と確実に協働し、ジョンソンコントロールズの評判の維持を支援する必要があります。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、サプライチェーンにおける高水準かつ倫理的な業務遂行を維持します。

- ・ 当社が何を必要とし、それをどのように実行するかという両面から、当社の要件を仕入先に明確に指示する
- ・ 交渉においては、透明性と公平性を確保する
- ・ 合意した条件は、契約書、注文書、その他の文書などに漏れなく正確に明記するよう徹底する
- ・ 常に、業務を遂行するにあたっての当社のバリューと哲学を説明し、契約書にそれらを反映させるよう心掛ける
- ・ 仕入先とのあらゆる関わりにおいて、当社の[グローバル仕入先基準](#)を一貫して適用する
- ・ 当社の期待事項について、さらなる明確化が必要な場合は、仕入先にリソースとその他の助言を提供する



バリュー第一と
地域社会との成功の分かち合い

持続可能性と環境への責任



持続可能かつ環境に配慮した業務遂行

どのように勝つか

当社は、持続可能な世界に向けた約束を念頭に置きながら、製品やサービスの設計、ならびに日々の業務を遂行しています。

なぜ「バリュー第一」か

ジョンソンコントロールズは、世界を安全かつ快適で、持続可能なものにする支援を行うことを目標にしています。将来だけでなく、現在、どのように良い影響力を及ぼすことができるかも重視しています。相互接続、相互依存の世界では、私たちの事業が環境に及ぼす影響を最小化することが、世界で最も優れた環境およびエネルギーのソリューションを創造することと同じくらい重要です。これにより私たちは、地域社会や顧客にとって、より良いパートナーになることができます。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、持続可能なソリューションや業務遂行に向けた当社の姿勢を示します。

- ・ 製品を設計する際、持続可能性を中心に据える
- ・ 業務遂行の効率性を実現しつつ、環境への負荷を減らす機会を見出す
- ・ 環境問題に関して、利害関係者の協力を積極的に求める
- ・ 法律、規制、または許認可上の要件を十分に満たす
- ・ 世界中のどこでも、当社の業務運営には、ジョンソンコントロールズ生産システム（JCMS）グローバル基準とベストプラクティスを適用する
- ・ エネルギー、水、その他の天然資源を節約する機会を見つける
- ・ 安全かつ法を遵守して廃棄物や排水を管理する
- ・ 流出、漏出、または未許可の排出を含め、何らかの事故が生じたときは、上層部に報告し適切に対処する
- ・ 日々の個人の行動においても、資源の節約、再利用、リサイクルに努める

コミュニティとの関わりと投資



地域社会への貢献

どのように勝つか

私たちは、自身が生活し働いている地域社会にプラスの影響をもたらすことに誇りを感じています。

なぜ「バリュー第一」か

ジョンソンコントロールズでは、当社が事業を遂行する地域社会をサポートすることには、当社の責任と機会の両面があると捉えています。責任ある積極的な企業市民として、私たちは会社の存在とサポートによって地域社会にメリットをもたらしたいと考えています。ボランティアや慈善活動を通じて変化をもたらすよう、全従業員に働きかけています。私たちの目標は、サポートを提供するだけでなく、地域社会の一員となることです。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、地域社会に積極的に貢献するよう努めます。

- ・ 責任ある雇用者として、また地元のサービスの消費者としての役割を大切に
- ・ ボランティア、指導教育、および慈善活動における従業員の活躍を奨励し、表彰する
- ・ 売名や見返りを期待してではなく、正しいことであるからという理由で地域社会に貢献する
- ・ 圧力とならないよう注意しながら、慈善団体やその他の社会活動への寄付を募る
- ・ 会社の名前を使用して金銭や無償労働を提供するときは、[「慈善寄付および慈善イベントスポンサー規程」を遵守するとともに、事前に適切な承認を受ける](#)
- ・ 自らが参加する慈善活動が、合法的で適用法に準拠しているかどうかを確認する

まず考える

Q: 私は、地元の少年少女向け放課後クラブで頻りにボランティアをしています。ジョンソンコントロールズは地域社会への参加やボランティアをサポートしていますので、この活動を会社の代表として行えないかと考えているのですが、どうでしょうか。

A: ジョンソンコントロールズは、地域社会への関わりを強く奨励しています。当社の従業員が特定の地域社会を基盤とするイベントで当社名前を出すことも珍しいことではありません。しかし、地域社会での活動でジョンソンコントロールズの代表を名乗る場合は、事前に広報部門から許可を得る必要があります。

政治活動とロビー活動



政治プロセスへの参加

どのように勝つか

当社は、公正な政治プロセスをサポートし、当社のビジネス方針を支持すると共に、従業員にも積極的な参加を奨励しています。

なぜ「バリュー第一」か

当社は、公正な政治プロセスへの積極的な参加が、社会の健全性を促すと確信しています。私たちは企業として、当社のビジネスや顧客にとって重要な問題や懸念事項について、政治家への働きかけを行っています。従業員にも、地域の政治的活動に参加するよう奨励しています。ジョンソンコントロールズでは、一般的に、政治家候補への支援のために当社のリソースを使用することについて制限を設けています。その代わりに、当社には従業員の自発的な寄付によって賄われている政治活動委員会（PAC）が設置されています。このPACを通じて、当社の政治的立場に合致した米国の政治家候補の支援が行われています。

「勝つ」とはどういうことか

私たちは以下を行うことで、責任を持って政治プロセスに参加します。

- ・ 個々の従業員に対し、選挙での投票を含め、自身の時間と資金を使用して政治活動に参加することを促す
- ・ 対象の従業員に対し、ジョンソンコントロールズPACへの自発的な寄付を促す
- ・ 特定の政党を宣伝するためにジョンソンコントロールズの名前を使わない
- ・ 行政機関、政府代表者、または議員に対し、不適切な影響力の行使を一切試みない
- ・ 政治家候補や公選役職者への支援のために会社のリソースを使用することは避ける
- ・ すべての関連法、ロビー要件や開示要件、および当社の[政治献金規程](#)

まず考える

Q: 私は現在、選挙に立候補している地元の政治家のためにボランティア活動をしています。私は選挙運動のための横断幕を製作してほしいと頼まれたのですが、それには大きな作業スペースが必要です。そこで、会社の会議室を利用したいのです。必要な資材は自分で用意して、作業はジョンソンコントロールズの就業時間後に行うつもりです。また、その部屋を会社の用事で使用する人が他にいないことを必ず確認します。会議室の利用は許可されるでしょうか。

A: ジョンソンコントロールズは、政治プロセスに参加する権利を尊重しています。政治的信念や支持する候補者のために自らの時間やお金を捧げる従業員がいることを誇りに思います。しかし、ジョンソンコントロールズは特定の候補者を支援するために、会議室を含め、会社のリソースを使用することを許可していません。会社が特定の政治家や政党を支援していると認識されることを避けるためです。したがって、会議室の使用は許可されません。



バリュー第一 最後に…

倫理規範は、より快適で、安全で、持続可能な世界を皆と一緒に構築していくためのインスピレーションの源や手引きとなるよう作成されています。倫理規範を見れば、私たちのバリューをどう行動に反映させながら、さまざまなリスクを回避し、機会を追求していけばよいか分かります。しかし、私たちが直面するすべての状況をカバーしきれないこともあります。適切な対処法が分からないときは質問をすること、また懸念が生じた場合は声を上げることが重要です。倫理規範には、そうした状況に陥った時に何を参考にし、どこに相談すればよいかについても、多く記載されています。



@johnsoncontrols
www.johnsoncontrols.com

